

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産振興費

## 事業名 資源循環型畜産確立推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 畜産振興課 酪農・飼料係 電話番号：058-272-1111 (内 2876)

E-mail: [c11437@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11437@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 822 千円 (前年度予算額：1,028 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,028	0	0	0	0	0	0	0	1,028
要求額	822	0	0	0	0	0	0	0	822
決定額	822	0	0	0	0	0	0	0	822

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

畜産経営に起因する苦情は、悪臭、水質汚濁がその大半を占めている。

環境問題を未然に防ぎ、また、問題を早期に解決することは、安定的かつ継続的な畜産経営を実現するうえで極めて重要である。

畜産農家は、耕種農家のニーズに即した堆肥の生産及び供給が求められている。

### (2) 事業内容

畜産環境問題の発生防止・早期解決を図るため、畜舎等から発生する臭気、排水の水質など環境管理に課題を抱える畜産農家を指導する。

家畜排せつ物から生産される堆肥を、より一層農業生産現場で活用を図り、資源循環型農業を推進するための支援体制を整備する。

### (3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10 (畜産振興のための事業であり、県負担は妥当)

(4) 類似事業の有無：無

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	55	環境指導旅費
需用費	526	環境指導及び調査に係る消耗品費、燃料費
役務費	25	通信運搬費
委託料	216	水質調査
合計	822	

#### 決定額の考え方

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

地域と調和した畜産農業を推進するため、畜産環境問題の発生防止・早期解決を図る上で、今後も継続的に行う必要がある。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 苦情要因である畜舎等からの臭気や排水などについて、課題のある農家を個別に指導し、畜産環境問題の発生防止、問題の早期解決を図る。  
 耕畜連携農業推進のため、耕種農家のニーズに即した堆肥生産、流通を支援する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(R)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(R)	%

### ○指標を設定することができない場合の理由

当事業は、畜舎等から発生する臭気・排水等について指導等を行うものであり、目標を設定することは困難。

### （前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）  
 （1）水質検査 検査実施中（令和元年度実績：28検体）

### （前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果  
 畜産環境指導については、畜産農家の環境管理等に係る水質検査を実施し、問題があった農家へは個別巡回を行い、改善指導を行っている。  
 耕畜連携農業については、各地域連絡会議にて畜産農家と耕種農家のマッチングや相談窓口活動を行っている。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	<p>畜産農家周辺の宅地化の進展、畜産経営の大規模化により、悪臭、水質汚濁等の環境問題が発生しやすい状況になっている。</p> <p>家畜排せつ物の適正管理及び有機質資源としての堆肥活用等がより強く求められるようになっている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) ○	<p>問題や課題のある個別案件に対しての指導を随時行っている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	<p>地域での指導活動に重点を置いているが、県協議会などを通じて情報交換し、他地域での事例の共有を図っている。</p>

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</li> </ul> <p>畜産環境問題は案件ごとに内容が異なるが、すぐに解決できない問題を抱える農家もあり、継続的な支援が必要である。</p>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</li> </ul> <p>地域と調和した畜産農業を推進するため、引き続き畜産環境問題の発生防止・早期解決を図る上で、継続的に諸調査、指導を行う必要がある。</p> <p>畜産農家と耕種農家の連携を強化し、より円滑な堆肥需給の情報共有及び利用体制を確立するため支援の継続が必要である。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>【○○課】</p>
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	